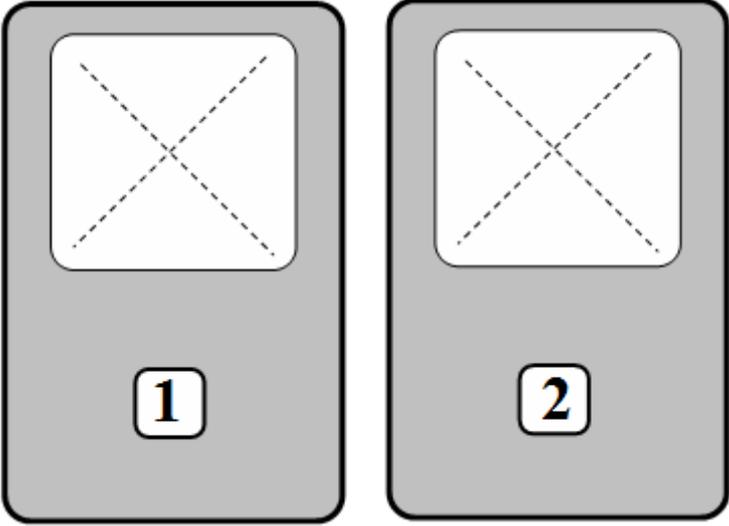
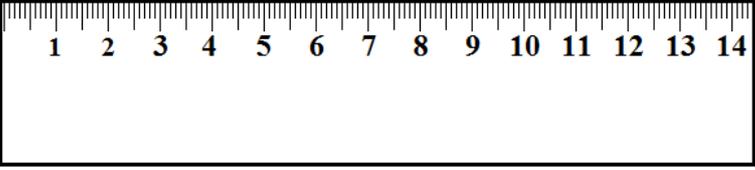
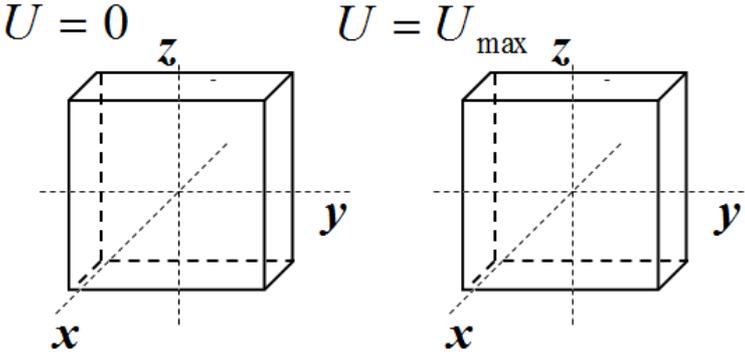


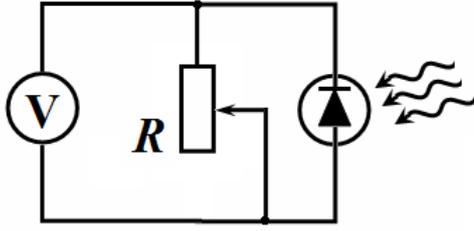
大きな箱に示されている装置のシリアル番号

Part 1.

1.1	偏光軸の方向		
1.2.1	プラスチック定規で考えられる光学軸のすべての方向		
1.2.2		$\Delta l_1 =$ $\Delta l_\Sigma =$	
1.3.1	プラスチックリボンで考えられる光学軸のすべての方向		
1.3.2	暗い帯の中央の座標	$x_L =$ $x_R =$	
1.4.1	液晶セルで考えられる光学軸のすべての方向		

1.4.2		$U_{cr} =$	
-------	--	------------	--

Part 2.1

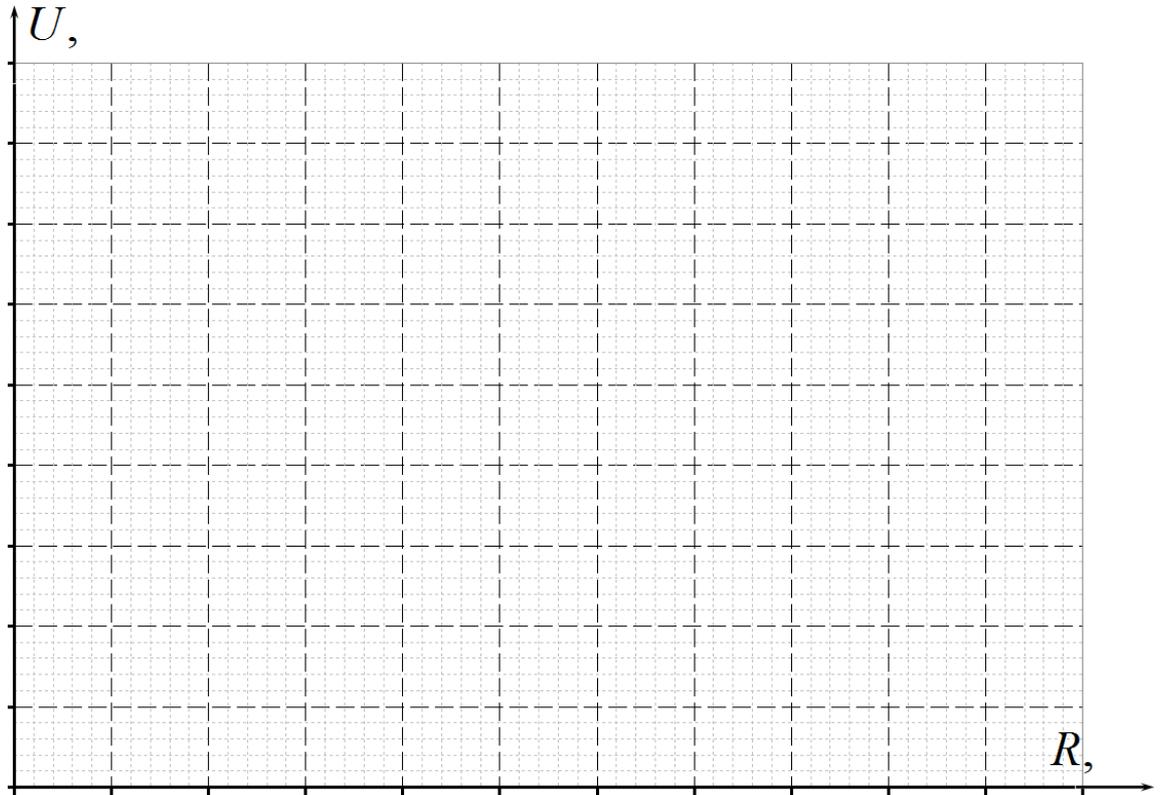
2.1.1	回路図にスイッチを記入せよ。		
-------	----------------	--	--

2.1.2 抵抗値の関数としての電圧

	$n = 0$		$n = 5$	
	$R,$	$U,$	$R,$	$U,$
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

--	--	--	--	--

2.1.2 その抵抗値の関数としての抵抗器にかかる電圧

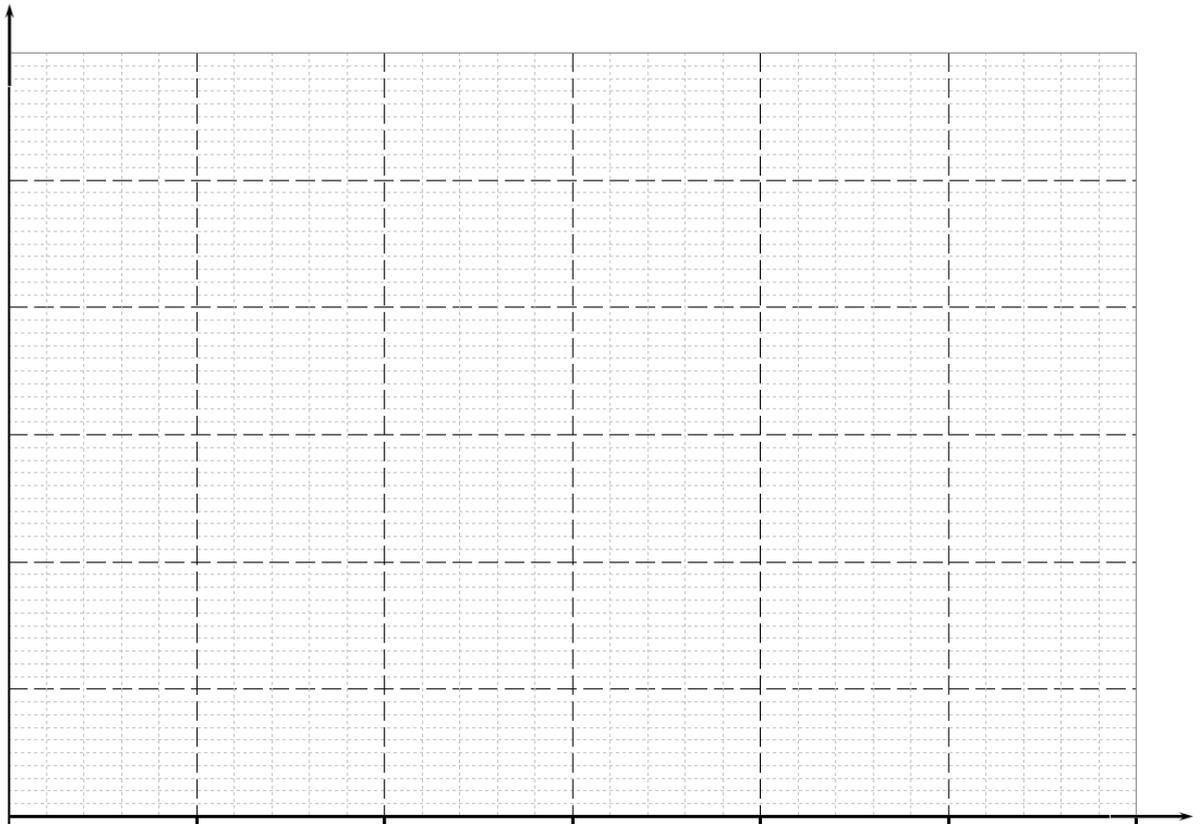


抵抗値の範囲:

$$R = (\quad - \quad)$$

2.1.3 フィルターの枚数の関数としての電圧

n	$R =$		$R =$		$R =$	
	$U,$		$U,$		$U,$	
0						
1						
2						
3						
4						
5						



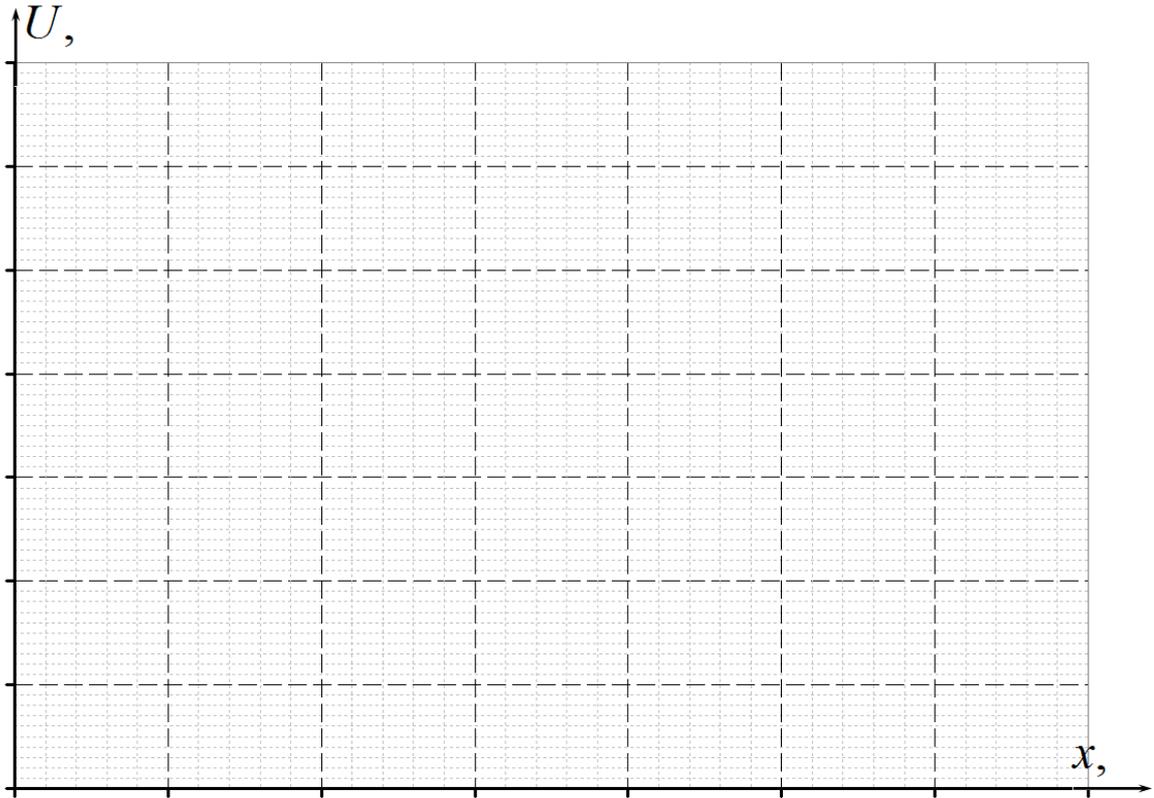
2.1.3 これ以降の測定に最適な抵抗値

$$R_{opt} =$$

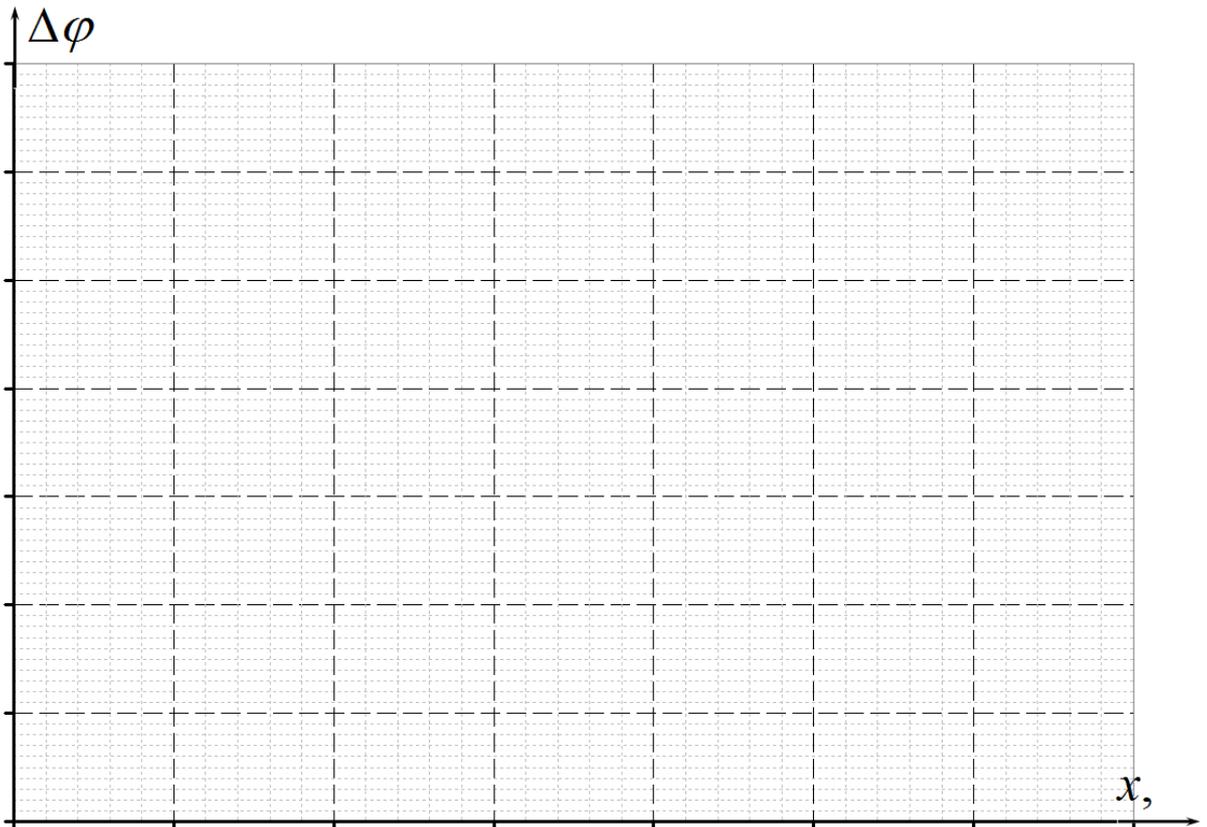
2.1.4 フィルターの透過率

$$\gamma =$$

2.2.1 座標 x の関数としての透過光の強度のグラフ



2.2.2 x の関数としての位相差の値のグラフ



計算に用いた式:

2.2.3 係数 $(\Delta\varphi)_{1,2} = a_{1,2}x + b_{1,2}$ の数値

定規 1

$$a_1 = \qquad b_1 =$$

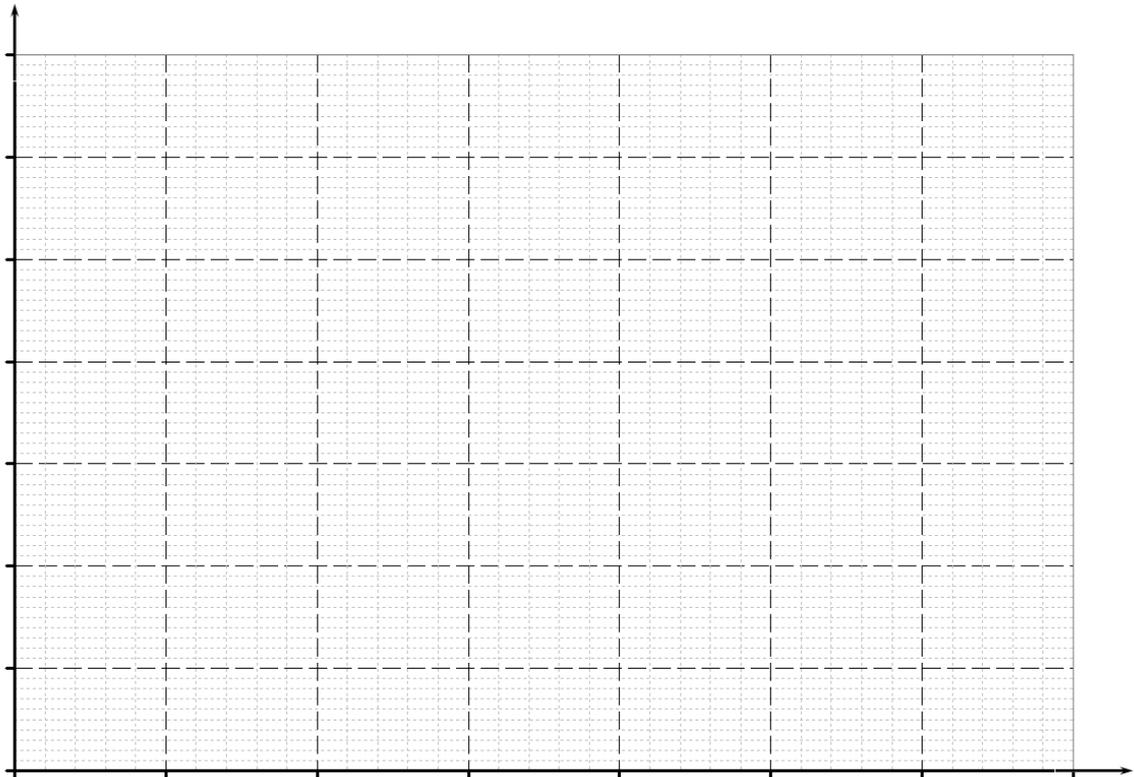
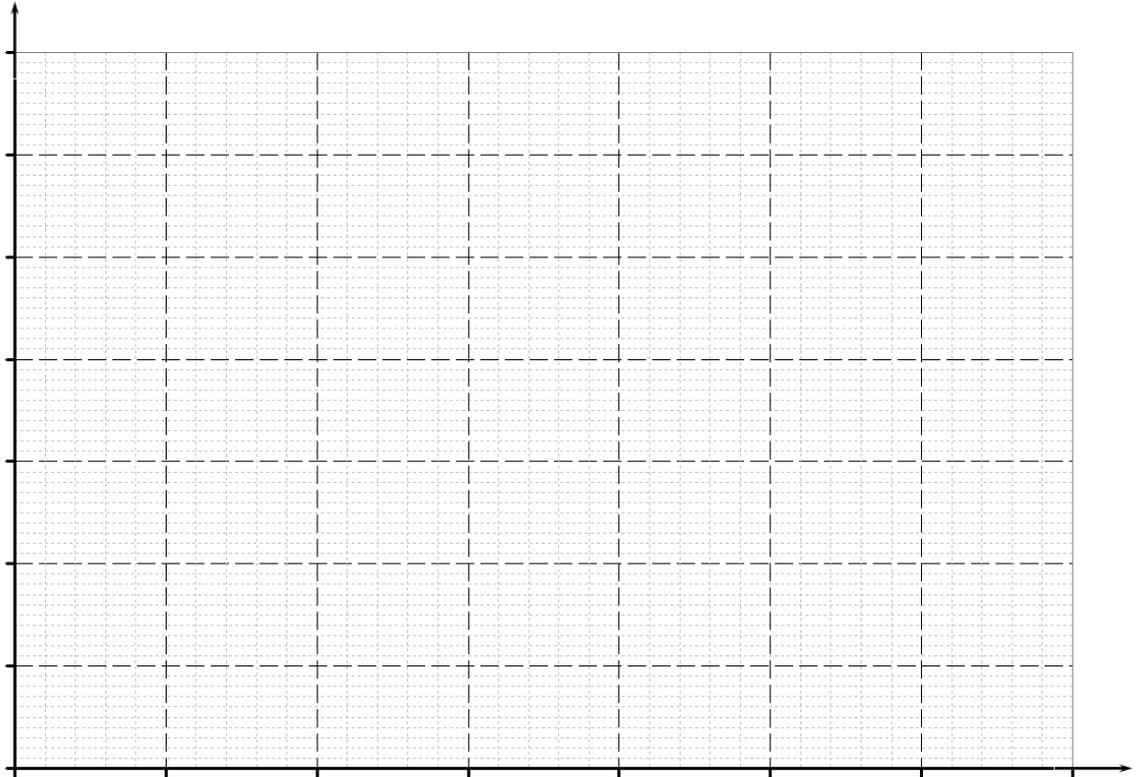
定規 2

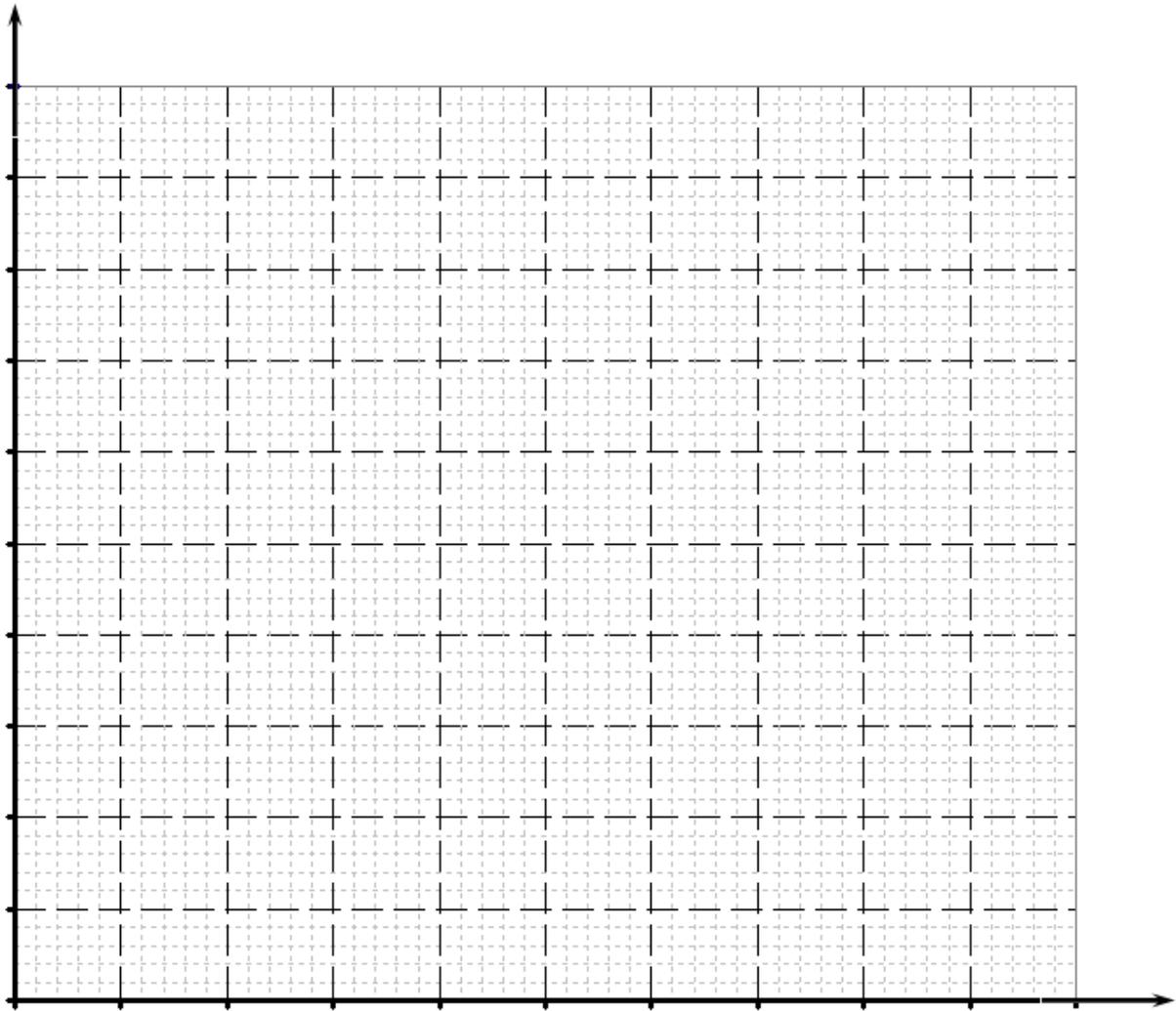
$$a_2 = \qquad b_2 =$$

2.2.4 計算に用いた式

$$U =$$

2.3.1. 電圧の関数としての強度のグラフ





数值

$$\beta =$$

2.4.2

$\Delta\varphi_0 =$

2.4.3 曲率半径

$R =$